

年ちゃんとハーモニカ

小川未明

青空文庫

年としちゃんともの友ともだちの間あいだで、ハーマニカを吹ふくことが、はやりま
した。はじめ、だれか一人ひとりがハーマニカを持もつと、みんながほし
くなって、つぎから、つぎへというふうに、買かったのであります。
けれど、みんなは、それを吹ふき鳴ならすことを覚おぼえないうちに、や
めてしまったけれど、年としちゃんだけは、べつに教おそわりもせず、
いろいろの歌うたを吹ふけるようになりました。

「学がっこう校がっこうのことが、そういうふうにできるといいのですけれどね
。」と、お母かあさんが、おつしやいました。

「いや、なんだって、上じょうず手ずになればいいさ。年とし坊ぼうは、音おん楽がく
家かになるかな。」と、お父とうさんは、笑わらわれました。

しかし、学校がっこうのことは、ハーモニカのようにには、ゆきません
でした。それだけでなく、試験しけんが近づちかいてきても、年としちやんは、
遊あそんでばかりいるので、お母かあさんは心配しんぱいなさいました。

「そんなに遊あそんでいてもいいのですか？」

そうお母かあさんにいわれると、さすがに、年としちやんも心配しんぱいにな
るとみえて、ご本ほんを出だしたり、また、お姉ねえさんや、お兄にいさんから
算術さんじゆつのわからないところをきいたりして、勉強べんきやうをしまし
たが、それも、そのときだけで、いつかまた遊あそんでしまったので
す。

やがて、試験しけんも終おわり、いよいよ今日きょうは、通信簿つうしんぼをもらうの
であります。

「どんなお点をもらって帰ってくるでしょうか。」と、お母さんと、お姉さんは、年ちゃんの帰るのを待っていていました。

すると、なにか鼻唄をうたいながら、小さく足の足音がして、つぎに、ご門の戸が開きました。年ちゃんが、帰ってきたのです。

「ただいま。」と、いつものように、年ちゃんは、ごあいさつをしました。

「どう？ 年ちゃん。」と顔を見るや、お姉さんが、おききになりました。

「ガア、ガア、いう声がきこえた？」と、年ちゃんは、いいました。

「なあに、ガア、ガア、って？」

「僕、たくさん、あひるをもらって来たから。」と、年ちゃんとしは、朗ほがらかなものです。

「まあ、乙おつばっかしなの？」と、こんどは、家うちじゅうが、大おお笑わらいになりました。

「丙へいがなかっただけでも、ありがたいのですよ。さあ、この通つう信しん簿ぼをお仏ぶつ壇だんの前まえにおあげなさい。」と、お母かあさんが、おっしやいました。

「年としちゃん、きようは、ラジオで、ハーモニカの上じょう手うずな方かたがななさるから、よくおききなさいね。」と、お姉ねえさんが、いわれました。

「僕、きくよ。」

やがて、その時間になると、年ちゃんは、上衣のかくしから、よごれたハンカチを出して、自分のハーモニカを拭いてちやんとラジオの前にすわりました。みんなは、そのまじめなようすがおかしいので、くすくすと笑いました。

けれど、年ちゃんだけは、真剣でした。そのうち、ラジオのハーモニカが、はじまりました。名人だけあって、それはうまいもので、ピアノの音も出れば、バイオリンの音も出たのであります。

年ちゃんは、はじめは、それに合わせるつもりでしたが、たちまち、その元気はどこへやら消えて、しまいには、ハーモニカを

吹くのをやめて、ただ、石のように、だまつたまま、下を向いて
きいていました。

やっと、その、ハーモニカが、終わると、お兄さんは、

「うまいもんだな。どうだ、年ちゃん、問題にならないだろう
。」と、いいました。

お姉さんまでが、

「どう？ 年ちゃん。」と、お笑いになりました。

なんといわれても、年ちゃんは、ただ、だまつていました。そ
のようすが、いかにもしおらしくったのです。

これをごらんになった、お母さんが、

「ねえ、年ちゃんも、いんまには、ああいうように上手に吹け

ますね。」と、おっしやっってくださいました。

これを聞くと、年ちゃんは、急に、味方を得たというよりは、悲しくなったのでしよう。お母さんの胸にとびつくようにしてその顔をふところのあたりへ埋めました。そして、目から、ぽろぽろと涙を出していました。

「お母さんだけが、ほんとうに、自分を知っていてくださる。」と、年ちゃんは、強く心で叫んだのでした。

その後、お母さんが、

「さあ、おさらいをしましょう。年ちゃんは、勉強をすれば、よくできるんだから。」と、おっしやいますと、年ちゃんは、ほんとうにそうだ。勉強をして、自分は、よくできるようにな

らなければならぬ、
と思^{おも}うのであります。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 11」講談社

1977（昭和52）年9月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「ドラネコと鳥」岡村商店

1936（昭和11）年12月

初出：「教育・国語教育 5巻9号」

1935（昭和10）年9月

※表題は底本では、「年《とし》ちゃんどハーモニカ」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2016年3月4日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

年ちゃんとハーモニカ

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>